

日本情報考古学会第 35 回大会のご案内

日本情報考古学会第 35 回大会を下記の要領で開催いたします。前回の大会に引き続き、最新の研究成果の発表、活発な議論が行われることを期待しています。意義ある大会としたいと考えておりますので、皆さまのご協力をお願い申し上げます。
お誘いあわせのうえ多数ご参加くださいますよう、お待ちしております。

日本情報考古学会第35回大会実行委員会

期 日：2015年10月3日(土)・4日(日)

会 場：共立女子大学 神田一ツ橋キャンパス（東京都千代田区一ツ橋2-2-1）本館 5階 510
東京メトロ半蔵門線 / 都営地下鉄三田線 / 都営地下鉄新宿線「神保町」駅下車、A9 出口。斜め前の 15 階建ビル。
または、東京メトロ東西線「竹橋」駅下車、1b 出口から徒歩 7 分。

第 1 日 10 月 3 日 (土) 本館5階 510 13:00 開始、17:50 終了

13:00-13:10 開会式 大会実行委員長 挨拶

研究発表 1 13:10-13:30 航空レーザー測量地図による前方後円墳の築造方法に関する研究(2)
—西殿塚古墳前方部築造の施工について—
西村 淳(函館大学)

研究発表 2 13:30-13:50 現代石工の身体技法—香川県小豆島における花崗岩を割る技術—
川宿田好見(同志社大学文化遺産情報科学研究センター)

研究発表 3 13:50-14:10 土器の痕跡を読む—民族考古学的観点から得られた情報をもとに—
平川ひろみ(鹿児島国際大学大学院)

研究発表 4 14:10-14:30 胎土分析の論理
三辻利一(鹿児島国際大学)

研究発表 5 14:30-14:50 弥生土器の形態比較—三次元的検討を含む北部九州～南九州の比較—
○黒木梨絵(鹿児島県立埋蔵文化財センター)、太郎良真妃(鹿児島国際大学大学院)
—休憩— 14:50-15:00

研究発表 6 15:00-15:20 北部九州弥生時代における甕棺墓制・葬制の地域比較—三次元コンピュータグラフィックスの応用—
新屋敷久美子((公財)鹿児島県文化振興財団埋蔵文化財調査センター)

研究発表 7 15:20-15:40 パキスタンにおける文化遺産の再記録化プロジェクト：情報化時代における国際協業の枠組み
○野口 淳(NPO 南アジア文化遺産センター)、千葉 史((株)ラング)、横山 真(同)、内記 理(京都大学)、ムハンマド・ザヒル(ハザーラ大学)、ナシール・ハーン(タキシラ博物館)、近藤英夫(東海大学)

研究発表 8 15:40-16:00 西南アジアの遺跡出土遺物を用いた地磁気研究
○菅頭明日香(富山大学大学院理工学研究部)、酒井英男(同)

研究発表 9 16:00-16:20 窯跡における磁気探査および窯体の磁化の研究
○酒井英男(富山大学理工学研究部)、泉 吉紀(同)、宇野隆夫(帝塚山大学文学部)

研究発表 10 16:20-16:40 地中レーダ探査によるシベチャリチャシ跡とホイナシリチャシ跡の研究
○泉 吉紀(富山大学)、中村和之(函館工業高等専門学校)、斉藤大朋(新ひだか町博物館)、酒井英男(富山大学)
—休憩— 16:40-16:50

特別講演 1	日本最古の旧石器文化について
16:50-17:50	小田静夫 先生 元 東京都教育庁学芸員

懇親会 18:00より大学内の学生食堂（本館4階）にて。

第 2 日 10 月 4 日 (日) 本館5階 510 10:00 開始、15:30 終了

研究発表 11 10:00-10:20 持続可能な土器修復の試み
○岩月真由子(岩月文化財保存修復研究所)、岡安光彦(株式会社四門)

研究発表 12 10:20-10:40 埋葬遺物の配置と埋葬姿勢からみる北村遺跡の墓の象徴性
中川朋美(岡山大学大学院社会文化科学研究科)

研究発表 13 10:40-11:00 鹿児島県三島村黒島の中世遺跡の調査成果—情報考古学的記録とパブリックアーケオロジ—
○平川ひろみ(鹿児島国際大学大学院)、中園 聡(同大学)、太郎良真妃(同大学院)、白井菜実(同)、下小牧 潤(同)、若松花帆(同大学)、楊 帆(同大学院)、福留理佳(同大学)、川宿田好見(同志社大学文化遺産情報科学研究センター)

特別講演 2	黒曜石から見る石材の流通問題：歴史的経緯と現状
11:00-12:00	小野 昭 先生 明治大学研究・知財戦略機構特任教授（黒曜石研究センター長）

12:00-12:30 総会、学会賞授賞式 —休憩— 12:30-13:00

13:00-13:40 ポスターセッション解説

研究発表 14 13:40-14:00 超・遠隔地交渉における同範関係の検討—中国と日本出土の中世中国系瓦—
○中園 聡(鹿児島国際大学)、太郎良真妃(同大学院)、平川ひろみ(同)、下小牧 潤(同)、楊 帆(同)

研究発表 15 14:00-14:20 中世前期における遺跡出土の“宝珠形陶製品”に関する検討—博多遺跡群及び鹿児島県三島村黒島大里遺跡出土資料の機能・用途についての一考察—
下小牧 潤(鹿児島国際大学大学院)、中園 聡(同大学)

研究発表 16 14:20-14:40 器種における類似性と差異—北部九州弥生時代中期土器における地域的様式と製作者のカテゴリー—
太郎良真妃(鹿児島国際大学大学院)

研究発表 17 14:40-15:00 Zipf 則を指標とするロングロング記号の分類
山口文彦(長崎県立大学)

研究発表 18 15:00-15:20 南西諸島先史土器の分類
銘苅耕作(岡山大学大学院社会文化科学研究科)

15:20-15:30 閉会式

ポスターセッション（第2日 13:00-13:40 ※掲示は両日）

研究発表 19 博物館活動の一環としての課外活動—香川県小豆島の事例—
川宿田好見(同志社大学文化遺産情報科学研究センター)

研究発表 20 池田古墳とその周辺古墳出土埴輪の蛍光 X 線分析
○三辻利一(鹿児島国際大学)、山田清朝(兵庫県まちづくり技術センター)、平川ひろみ(鹿児島国際大学大学院)、太郎良真妃(同)

研究発表 21 日本出土の中世中国系瓦の蛍光 X 線分析による産地推定
○中園 聡(鹿児島国際大学)、平川ひろみ(同大学院)、太郎良真妃(同)、白井菜実(同)、下小牧 潤(同)、若松花帆(同大学)

研究発表 22 SfM による土器調整痕の三次元形状比較によるマッチングの試み—土器製作者個人の高精度同定法の洗練のために—
○太郎良真妃(鹿児島国際大学大学院)、中園 聡(同大学)、平川ひろみ(同大学院)

研究発表 23 土器形態における歪みの記録と比較—三次元形状の検討—
黒木梨絵(鹿児島県立埋蔵文化財センター)

研究発表 24 甕棺墓における墓壇内空間の復元方法の開発—三次元コンピュータグラフィックスを用いて—
新屋敷久美子((公財)鹿児島県文化振興財団埋蔵文化財調査センター)

ブース展示（本館5階 第1日・第2日 両日）

アイリス株式会社(機器展示)	ハンドヘルド蛍光 X 線分析計、ポータブル X 線回折装置
小豆島町「世界遺産化」対策室	小豆島「石の魅力創造プロジェクト」
島のミュージアムプロジェクト	持続可能な博物館活動モデル構築へ向けて(代表 川宿田好見)

- 大会参加費（『日本情報考古学会講演論文集』Vol.15 込み） 会員 2000円、非会員 3500円
- 懇親会は、第1日（土）18:00より大学内の学生食堂（本館4階）にて。懇親会費 4000円。
- 当日受付もしますが、人数把握のため会員・非会員にかかわらずメールにて、「大会参加」「懇親会出席」について、事前に学会事務局までお知らせくださいますよう、ご協力ください。
- 宿泊は、各自でご予約下さい。
- 第2日（日）の昼食につきましては、各自でご準備いただくことをお勧めします。
- 詳細・変更は学会ホームページで逐次ご案内します。必ずご確認ください。http://www.archaeo-info.org/
- お問い合わせ等は、学会事務局まで必ずメールでお願いします。archaeofoiuk@gmail.com